



介護タクシー業界を変革する ヘルスケアMaaSプロジェクト

2022年3月9日

代表申請者：株式会社 アイネット

プロジェクトメンバー：国立大学法人 横浜国立大学

医療法人徳洲会 湘南鎌倉総合病院

細野運送株式会社 細野介護タクシー

誰もが気軽にお出かけしたくなる

産学公医連携による
ヘルスケアMaaSの確立



事業紹介

移動困難者

配車

介護タクシー事業者

安心して利用、移動したくなる

速やかな配車、稼働率向上



車いす
ストレッチャー
要介助



自宅の階段
付近の路地

マッチング



介護サービス

待機車両予測
介護人員配置予測



自由な移動を提供する
新たな産業の創出

受益者

- 介護タクシー事業者
- 利用者（移動困難者など）

働き方改革

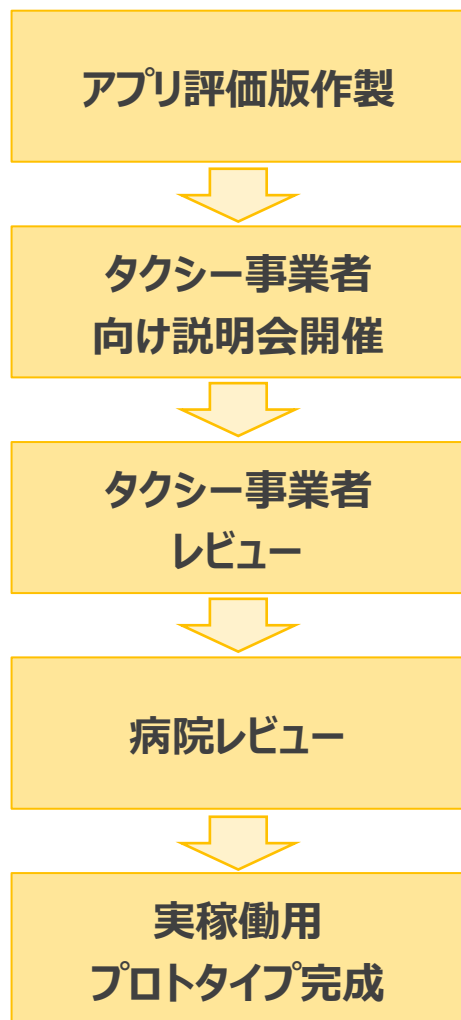
受益者

- 介護タクシードライバー
- ヘルスケア関係者（医師・看護師・理学療法士など）

サービスの特徴

- 利用者の状況に応じた介護タクシーを手配します。
 - 車いす、ストレッチャー
 - 酸素吸入、点滴
 - 自宅内から行先内までの状況（階段、スロープなど）
 - 要介助対応 など
- 最適な装備と時間に送迎できる介護タクシーに通知します。
- 利用者は予約前に、概算見積もり料金と到着時刻を確認できます。
- 操作はスマートフォンです。通話による詳細確認も可能です。
- 介護タクシー事業者は送迎実施履歴を閲覧できます。
- 利用データは国内最高クラスの安全性と最新のテクノロジーを備えたアイネットのデータセンターで安全に管理されます。

実証実験概要



- 介護タクシー事業者、湘南鎌倉総合病院から要件をヒアリング

- 2022年1月6日（木）湘南鎌倉総合病院のご協力のもと、実証実験協力に向けた説明会を実施

- 評価版に対する意見ヒアリング

- タクシー事業者を個別訪問、アプリをインストール

- 実際に使用いただき、実務を想定した意見ヒアリング

- タクシー事業者の意見をフィードバック

- 湘南鎌倉総合病院の業務フローを想定し、意見ヒアリング

- 各意見を個別検討。アプリに反映する事項、課題とする事項別に分類

- 改善点反映、運用テスト



アプリ評価版に対するご意見

●介護タクシー事業者

- 概算料金、到着時刻を算定するための必要情報を網羅して欲しい。
 - 利用者の体格、身体状況、機材・所有者、搬送先の状況、要介助などの項目。
 - UI/UX（身長・体重、同乗者、階段数、送迎時刻、料金などの表示、使用感）。
 - 必要情報入力数の絞り込みのバランス。
- サービス品質を伝えるプラットフォームであって欲しい（サービスへの自信と誇り）。

●湘南鎌倉総合病院

- 呼出中の依頼を一覧したい。
- 介護タクシーが依頼を見たかどうか知りたい（既読、未読表示）。
- 送迎状況がどうなっているかフォローしたい（送迎中、終了）。
- 病院の患者の管理に合わせた仕様にして欲しい（番号札）。

KPI目標／実績

KPI項目	実証実験		目標値	実績値
病院数	実証実験場所	湘南鎌倉総合病院の送迎	1	1
タクシー事業者数	アプリ作製	実務に基づく意見聴取	3	11
	アプリ使用	・実務が回るかどうか ・適切な料金概算、到着時刻提示 ・UI/UXの改善	5	11
搬送回数	一日当たり回数	実稼働によるカウント	3	(*)

- 病院は湘南鎌倉総合病院。
- タクシー事業者は目標値を上回った。
 - ・ 相応のニーズが確認できた。口コミで参加者が増えた。
 - ・ アプリに対するご意見が多数あった。期待感も寄せられた。
- 搬送回数 (*)
 - ・ 新型コロナウイルス感染症状況の急速な悪化により、実稼働での検証を見合わせ。状況が改善次第、着手し搬送回数を計測する。

実稼働を通じ期待する効果

価値を
高める

- 利便性の確認
 - ・利用者は最適な介護タクシーを速やかに予約。
 - ・介護タクシー事業者は、自車の装備を適切に連絡。必要に応じ、詳細な利用者の状況を通話で簡単に確認。
 - ・提示した概算見積もり料金と到着時刻を記録。トラブル回避の一助に。
 - ・介護タクシーは送迎履歴を閲覧。
- 利用データを介護タクシー事業者・病院に還元。運営に役立てる。



アプリの更なる改善

横展開（地域、県内）

価値を実感していただき
マネタイズに向け検討

ウィズコロナ・アフターコロナ社会構築への貢献

- モビリティとヘルスケア関連サービス等、地域連携、およびICT・5G等を活用することにより、アフターコロナの社会を構築する。

**人との接点を増やす
孤独感解消**

近隣への移動手段、買い物、スポーツ観戦・体感
コミュニケーション活性化

遠隔地の居住性改善

公共交通、運転支援・自動運転・交通事故防止などの
一翼を担う

**移動と組み合わせた
データ活用**

未病、見守り、医療ビッグデータ

**運動不足解消や
健康意識の高まり**

介護・在宅での運動、ヘルスケアデータとの連動
健康や未病のアドバイスに役立てるサービスへの寄与

今後のDX推進及びプロジェクト計画について

●データ活用

- 実証実験により蓄積された介護タクシー利用実績データと、今後実装予定である地図情報、GPS、気象情報、時間帯等の活用など合わせて、AIを用いたデータサイエンスにより、更にDXを推進すべくプロジェクトを継続する。
- 適切な車両アレンジ、成約率の上昇、待機車両予測、介護人員配置予測などに活用。
- 新たなサービスの開発（サブスク、割引、クーポン、ポイントなど）。

●介護タクシー業界のプラットフォーム化

- サービス品質を伝えるプラットフォーム（適切な料金とサービスの自信と誇りを伝える）。
- 介護タクシーと利用者、および家族、施設、ソーシャルワーカーなどのコミュニティを有機的につなぐような機能なども検討。